

# 大阪歯科大学 兵庫県同窓会報

昭和60年10月20日

No. 40

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会  
神戸市中央区山本通5丁目7-18  
電話 (078) 351-4181

編集発行人 中野 浚次



## あいさつ

大阪歯科大学兵庫県同窓会長代行

松本 清

去る8月12日、日航機遭難事故により、鹿嶋弘会長、前田光俊副会長、河原道夫北但分会長が急逝され、9月10日に持たれた副会長会議において、大歯大兵庫県同窓会会則第11条第2項に基づき、私が、全員の賛同により、会長代行に就任いたしました。

公人としても、私人としても、およそ人である限り、この立場におかれることに痛恨の情を抱かざるを得ません。が、私は、代行の任に就いた限り、敢てその情をおさえ、責務を果たさねばならぬと自から言いきかせております。

歯科医療界そのものが厳冬の時代を迎えた今日、鹿嶋会長、前田副会長、河原分会長の3人の幹部を一挙に失うという危機を迎えたわれわれが、この危機を如何に乗り越え、更に一段と行動を起こすべきであろうかということは、単にわれわれ内部の問題であるのみならず、ひろく県下の、更には全国歯科界の同憂の土の注視するところであると言っても過言ではありません。私は、代行として、今、われわれがおかれたこの場においてこそ、鹿嶋会長の遺された精

神を想起してみようと思うものであります。鹿嶋会長は、昭和53年、第5代大歯大兵庫県同窓会長に就任以来、友愛と寛容をもって自からの指導理念とし、また、その在任中を通じて大歯大兵庫県同窓会の数の力の大偉さと、それ故にこそ、自戒の大切さを強調され続けて来られました。

友愛と寛容の精神、そして、力ある者としての自戒、私は、これを、鹿嶋会長の遺戒としてうけとめ、これを掲げ、その精神の風化せざる様、努めることをもって、会長代行の第一の責務と考えております。のみならず、この鹿嶋会長の遺戒は、単に、大歯大兵庫県同窓会に限らず、一つの会、一つの勢力の頂(いただき)に立とうと志す者が行住坐臥、心に刻むべき言葉であろうと私自身も思念するところであります。

私の意のあるところを諒とされまして、兵庫県同窓会にある一つの流れを断つことなく、次期会長のえらばれる迄、代行の任を恙なくおえさせていただくことを願って挨拶といたします。(昭和60年9月11日)

昭和60年9月10日(火)兵庫県歯科医師会館会議室において副会長会議を開催、志築専務より経過報告の後、会長代行について協議の結果、全員一致で松本副会長を会長代行に決定した。

〔参考〕大阪歯科大学兵庫県同窓会々則  
第4章 役員

第11条 役員職務を次の通り定める。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故がある時はその職務を代行する。

### ＝もくじ＝

あいさつ	大阪歯科大学兵庫県同窓会長代行 松本 清	1
第31回大歯大兵庫県同窓会会員大会		2
哀悼・鹿嶋会長ら3幹部と悲しい別れ		3
第31回大歯大兵庫県同窓会会員大会スナッフ		4
文化講演「女で綴る女の一生」		6

## 第31回大歯大兵庫県同窓会会員大会

盛大に、600人が集う

## 新卒・新入会員を歓迎

第31回大歯大兵庫県同窓会会員大会は摂津分会の当番で7月20日（土）、神戸ポートピアホテルで開催。北川正夫理事長、森 政和学長をはじめ近府県同窓会、県下各歯科大学同窓・校友会代表ら多数の来賓を迎え、これまで最高の総勢600余人の参加者で盛大を極めた。

また大会セレモニー終了後、播磨分会員で国学院大学出身の渡辺四郎氏が「女で綴る女の一生」（講演抄録は6頁に別掲）と題して約1時間にわたり講演、ユニークな話術で会場をわかせた。

懇親会では、にぎやかなアトラクションで楽しみ、同窓生とゲスト出演の宝塚ジュンヌが母校の校歌で喉を競う場面があり、会場いっばいに親睦の輪を繰り広げた。

大会セレモニーは、志築専務理事の司会、松本副会長のことばで幕を開けた。

まず鹿嶋会長が「昨年、この会場で全国大会を担当した関係で、兵庫県の会員大会は延期してきた。本日、31回会員大会をかくも盛大に開催できたことに対して当番の摂津分会に感謝の意を表したい。この1年間を顧みると、白数会長がなくなり、北川理事長、森学長の両先生による新しい体制で進んでいる。かつて奥野半蔵先生は、母校と同窓会は車の両輪であるといわれた。まったくその通りで、こんどは北川、森両先生のもとに、本日出席した600数人が願うことは母校の発展である」とのあいさつがあり、最近とくに感激した京城歯科大学全国同窓会でのエピソードを交え、母校と同窓会のつな



大会セレモニーであいさつする鹿嶋会長

がりの重要性を強調した。

このあと、山崎本部副会長、北川理事長が来賓として祝辞を述べ「同窓は集まるべし、来るべし」と出席することによって同窓相互の扶助につながることを訴えたほか、森学長、奥野大阪府同窓会長と続いた。ついで新入会員および新卒業生の紹介が中塚常任理事によって行われ、鹿嶋会長から記念品を贈った。これに対し八竹利明氏が謝辞を述べた。

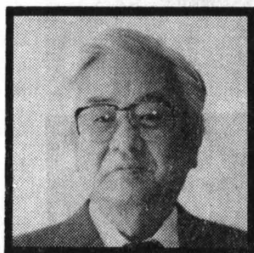
ここで当番分会を代表して八竹摂津分会長のあいさつの後、志水常任理事によって中曽根首相ほか多数の祝電披露があって、学歌斉唱。最後に村井副会長の閉会のことばでセレモニーの幕を閉じた。

小憩後、渡辺四郎氏の文化講演「女で綴る女の一生」があり、会場である「和楽の間」は爆笑のるつぼとなった。

懇親会は午後4時から「借楽の間」に会場を移し、辰己実行副委員長の司会で進められた。山岡実行副委員長の開宴のことば、次期当番分会である田中西宮分会長の挨拶があり、阿部勉同窓会顧問の音頭で乾杯した。舞台では宝塚

大歯大兵庫県同窓会に大きな痛手

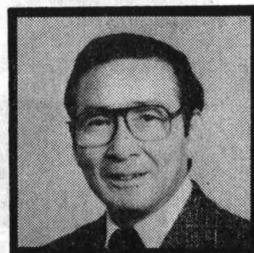
鹿嶋会長ら3幹部と悲しい別れ



鹿嶋 弘  
大歯大兵庫県同窓会長



前田 光俊  
大歯大兵庫県同窓会副会長



河原 道夫  
大歯大兵庫県同窓会常任理事  
北但分会 長

史上最大の惨事となった日航機墜落事故に鹿嶋弘大歯大兵庫県同窓会長（専25）、前田光俊同副会長（専29）、河原道夫同常任理事・北但分会長（専24）の3氏が遭遇され、還らぬ人となった。奇しくも3先生とも大阪歯科大学の同窓生であり、兵庫県同窓会長ら3人の幹部を一

挙に失ったことは、兵歯はもとより、大歯大兵庫県同窓会にとっても大きな痛手である。

昨年の全国大会の盛会裡、今夏の会員大会には、これまで最高の会員を動員できたことがせめてもの「はなむけ」であった。今はただ3先生のご冥福を心からお祈りしたい。

ジェンヌのゲスト出演などの数々のアトラクション。各テーブルではにぎやかに歓談の輪を広げ、新入会員らが鹿嶋会長と固い握手をする光

景が目を引いた。

最後に宇賀実行副委員長の閉会のことばで盛大のうちにお開きとなった。

来賓御芳名

(大学関係)

大歯大理事長 北川 正夫  
大歯大 学 長 森 政和

(本部関係)

副 会 長 山崎 秀治  
〃 奥野 喜一  
〃 山崎 弘潔  
専 務 理 事 渡 部 潔

(近府県支部)

大阪府同窓会長 奥野 喜一  
京都府同窓会長 竹内 茂  
和歌山県同窓会長 久保 昌弘  
滋賀県同窓会長 川村 輝雄  
奈良県同窓会長 花岡 繁一  
(鈴木 範弘)  
(守内 武雄)  
(木村 克巳)

岡山県同窓会長 森本 太郎  
〃 副会長 飛田 領一

(県下各同窓会校友会関係)

東 歯 大 林 幹 雄  
日 歯 大 池 端 邦 夫  
京 城 歯 中 田 宏 昭  
日 大 歯 後 藤 昭 夫  
東京医科歯科大 山口 唯 夫  
九 歯 大 田 中 川 務 夫  
阪 大 歯 砂 川 一 夫  
愛知学院大歯 柳 田 秀 夫  
神奈川歯大 佐 多 夫 進  
岐阜歯大 謝 花 幹 樹  
城西歯大 中 岡 要 世  
女 医 会 堀 久 信  
〃 柏 木

(公務関係)

指導医療官 笠原 義人

第31回  
会員大会

同窓は集まるべし、来るべし



↑  
大会セレモニーでの来賓あいさつ  
北川大歯大理事長（左）  
森 大歯大学長（右）

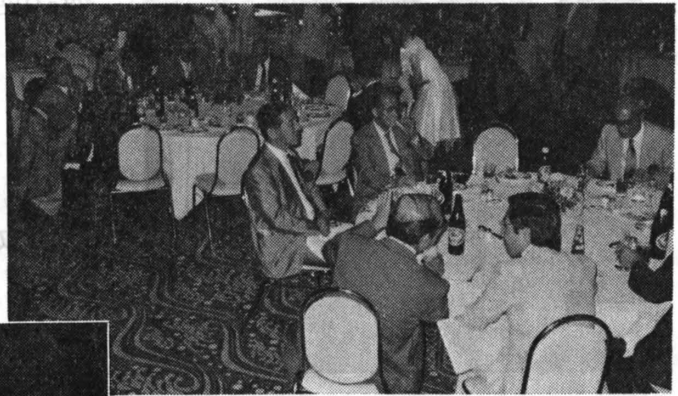
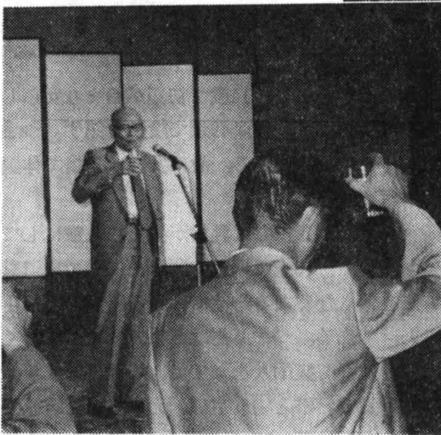


→  
矜れよ新人  
鹿嶋会長と固い握手を  
する新卒・新入会員



←「どうぞよろしく」  
新入会員、新卒業生が紹介  
される

乾杯の音頭は  
↓顧問の阿部 勉先生



↑にぎやかに広がる親睦の輪

→  
タカラズカジェヌと共に  
ご自慢の喉を披露  
「ODCノブレー」



←  
語りつきない  
談笑



## 渡辺四郎氏の文化講演

## ユニークな話術で

## 『女で綴る女の一生』

正式談 諸君の問題!

当日の文化講演は「運」と題して、播磨分会員で、国学院大学出身の渡辺四郎先生を講師に招き、約1時間、ユニークな話術で会場をわかせた。演題に入る前に、本日の講師として、お招きに授ったことに対して、お礼の言葉を述べたあと、「私達はいかにして自分の運を好転させ得ることが出来るのか。つまり悪い運を取り除き、運を好転させると言う触媒とはどんなものか。また私の得意とする易学で実投も披露したかったが、時間の都合で急速、予定を変更して、女と言う字で綴る『女の一生』を話したいとして、大要次のような講演を行った。

「私が日頃勉強している女という字の話になるが、まず女が生まれます。名前をつけなくてはなりません。姓名の姓には、女偏が最初からついている。だんだん女が成長して、やがて娘になる。娘と言う字は、本来『嬢』と書く。女偏に衣の中の懐にいだかれていたと言った感じだ。娘も成長して、第2次性徴が現われてくる。そこで小話を一席。あるハプラン会社に勤める労働者に、一人の娘がいて、一家つつましく暮らしていました。しかし最近、娘がものを言わなくなりました。そのわけは、へんな所に黒いものが生えてきたからだ。ある日、娘は決心して母に胸の内を打ち明けた所、母はそんなことは全く心配はない。そのうちわかる時があると安心させ、自分のものを見せたかったが、残念ながら無毛症であった。父親は娘には見せられないし、思い余って、会社の社長に相談して、社長の奥さんのものをと考えたが、運悪く彼女も無毛症であった。そこで、仕方なく社長はみずから自分の一物をゆっくりと娘に見せた。

娘はにこにこしながら帰ってきて曰く、さすがハプラン会社の社長さんだけあって、立派なものだったが、おまけに長い柄までついていと説明し、両親を安心さすやら、びっくりさすやらであったとき。(爆笑)。

やがて、初潮が始まり一人前になる。女性は7歳で

永久歯が萌出し、14歳で初潮が始まり女らしくなり、21歳で婚期が来る。49歳で陰道を閉ず。つまり生理がなくなるわけである。故に女性は7掛で体調は変化して行くことになる。

男は7カ月にして乳歯が生え、8歳にして永久歯が萌出する。16歳で尿道を開き、64歳で尿道を閉ず。つまり何もなくなるわけで、元の泌尿器に帰ってしまうわけである。つまり男は8掛で成長して行くことになる。やがて媒酌人をたてて、娘は結婚する。そして結納を貰う。婚という字は、元来暗いと言う意味で、これは昔の結婚は略奪結婚であったことに由来する。暗闇に乗じて奪ってきたものだ。婚はもともとたそがれを意味していた。そして妻となり主婦となる。

婦という字は、ものを清める、びったりと寄添うという意味だ。ところで、処女であるかどうかであるかと言うことは、最近は何回もつけられるが、昔は貴重なことであった。

そこで、みなさんも関心があると思うので、その見わけ方をご披露しよう。

まず小箱の中に、きりの灰を少量入れて、その上に試験体をまたがらせる。そして若鳥の羽毛で鼻を軽くくすぐると、クシャミをする。きりの灰がパッとあがれば、ノット処女である。ところで、これを聞いた人が女房に実験的にやらせたところ、灰どころか箱までとんでしまったそうだ。(爆笑)。

やがて妊娠するわけだが、妊という字は腹にかかえると意う意味で、娠とは2枚貝がヒラヒラしている姿を言うわけだ。そして分娩をする。やがて年老いて、老婆となっていくわけだ。そして女性の生命が終わり、これが漢字で綴る女の一生である。

その他、女の復讐のおそろしさ、めずらしい女偏の漢字など勉強して、約1時間、一流の落語家に優るとも劣らぬ話術で、会場を魅了した。最後に man is mortal つまり誠に悲しいことであるが、人間とは死すべきものなりである、と結んだ。